

第十一講 シュメール人の国家と社会のモデル

レポート講評：レバント地方とメソポタミア地方の自然環境と農業の相違を比較せよ

レバント地方は十分な降雨があり天水農業がおこなわれ、メソポタミア地方は極度の乾燥の為ティグリス川・ユーフラテス川を利用して灌漑農業が行なわれたというのは、内容が単純である。もう少し情報が欲しい。

レバント地方にはレバノン山脈とアンチレバノン山脈が南北に走っており、その山脈に地中海を東進して来た低気圧があたって西側斜面に降雨をもたらし、そのことが天水農業を可能としたのに対して、メソポタミア地方では潜在蒸発量に対して降水量が極度に少なくティグリス川・ユーフラテス川の水を利用する灌漑農業を行なったというレポートが比較的多かった。しかし重要な情報がレポートから落ちている。

レバント地方に関しては地中海とレバノン山脈にはさまれた狭い空間という物理的制約、大河川の欠如がこの地域の国家・社会の発展に大きく制約したということへの言及、メソポタミアに関しては地下水に含まれている塩分の上昇と塩地化の問題、そして地下水の上昇を抑制するために灌漑が必要であったことへの言及は必要だろう。

レバント地方には熱帯雨林が広がっていたとか、メソポタミア地方ではティグリス川・ユーフラテス川の大洪水を利用して灌漑が行なわれたとレポートしているのが見られた。これは誤解だろうと考えられる。逆に花粉のデータを援用して氷河期以降のレバント地方の植生の変化に言及しているレポートもあった。

人口：100 万人以上（自由人）

都市国家はモザイク状に点在

20 キロ間隔

ウルから南のエリドゥが見える

ウル：最大の人口（ウーリーは 36 万人、フランクフォートは 20 万人と推定）

シュルパック：16 万人

ラガシュ：10万人

地積：12,579 平方キロ（アッカド時代の碑文より；新潟県：12,583.83km²）

17の行政区と8つの行政区 maš-ga-na sag

ラガシュ：1,572 平方キロ（香川県：1,876.55km²）

都市複合体

ラガシュ：ラガシュ・ニーナ・ギルス・エニンマルなど

神殿領：エンリル神・バウ神などの神殿領

王領

私有地

シュメール国家・社会のモデル

1. マルクス

国王国土総有説←『旧約』「創世記」47. 19-22.

ヨセフ・ファラオによるエジプトの農地購入

私有地の欠如

アジア的共同体所有

大家族

不変

2. ウェーバー

封建的關係（王の兵士）

小家族

私有地

3. 神殿国家論

P. A. ダイメル、A. シュナイダー

教皇庁所蔵のタブレットを研究

ラガシュの神殿領中心に研究

ラガシュの都市領を2～300平方キロと見積もる

（実際には1572平方キロ）

神殿共同体：マルク共同体と見、定期的土地の割替えを伴う。

土地私有は存在せず。

神殿領：都市領と同じ。

神殿所属員：都市住民と同じ。

神殿国家の変質と解体：

初期王朝第3期末・・・王による神殿領篡奪

ウル第三王朝・・・私有地と賃金労働者の発生

イシン・ラルサ時代・・・神殿経営体の解体

4. 原始民主政論

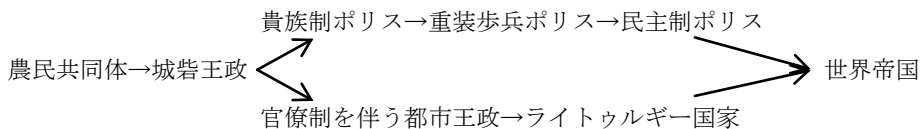
Th. ジェイコブセン

ディアラ川流域を考古調査

英雄時代論と対応：『ギルガメシュ神話』

ギルガメシュ・ウルクの民会

マックス・ウェーバーの古代国家の発展モデルの応用



初期王朝第1期・・・ケンギル同盟（一種のシュメール連邦）

原始民主政：民会

臨時の指導者 en・・・内政面

lúgal・・・軍事面

各都市の指導者 ensí

初期王朝第2～3期

原始王政：危機の恒常化

臨時の役職の恒久化

en 権と lúgal 権の結合

王の神格化

初期王朝第3期末

ケンギル同盟の解体→領域国家の形成

ensí（都市の指導者）が lúgal を名乗る

都市間の覇権争奪

アッカド帝国期

原始帝国・・・カリスマ性に依拠

ウル第3王朝期

官僚制的民族国家

帝国を放棄

5. ノモス国家論

ディアコノフ

自由市民共同体を提唱

国王国土総有制を否定

王による土地売買や贈与の証拠

神殿領以外の共同体所有地は私有地

住民を国王隷属民と共同体自由民に分ける。

都市共同体の自治機関

長老会・市長・市民集会・共同体的裁判所

神殿領・・・500～1000 平方キロ

共同体所有地（私有地）・・・2000～2500 平方キロ

6. デスポティズム論

中原与茂九郎

en=lúgal=ensí・・・デスポット

ジェムデト・ナスル期に出現・・・最初からデスポット体制

un-kin-gal → en

宮廷 (é-en) 経済

廷臣 (turu)

職人 (giš-kin-ti)

奴隷

集団労働組織の長＝軍事組織の長

nubanda — ugula — šub-lúgal

数百名指揮 43名指揮 erin/ bir